



# 大森二中だより

令和3年度 大森二中の合言葉「思いやり」  
スローガン 笑顔満開 いつも心に太陽を！

令和3年2学期終業式号  
大森第二中学校  
校長 成清敏治  
電話 3762-6456

## 大谷翔平選手にみる「生き方」

さて、今年1番活躍したスポーツ選手といえば、やはり大谷翔平選手だと思います。流行語大賞は「リアル二刀流 ショータイム」になり、満票で大リーグのMVPを受賞して、一躍世界の大谷になりました。そこで今日の話は、大谷選手の道のりを示した本『道ひらく、海わたる』を通しながら、その生き方に学びたいと思います。大谷選手は、投手として9勝、打者としてホームラン46本100打点を記録し、申し分のない成績を残しました。しかし、大谷選手の偉大な点はそれだけではなく、人間性だと言われています。彼はこう言い残しています。

「毎年、『大事だな』という積み重ねですね。日本でのプロ1年目も『すごい大事だな』って思いましたし、レギュラーを獲るとか、試合に安定して出るとか、結果を残すとか。そして2年目も『ここが勝負の年だな』と思ってやりましたし、3年目は最多勝を獲っていろいろと受賞しましたが、バッティングが悪かったりしたので、次の年も『勝負の年だな』と思ったし、メジャーリーグに行く1年目も『勝負の年』だと思ったし、2年目もその地位を確立する『勝負の年』だと思いましたが、本当、そんな感じですね。前年より大事じゃないと思う年はないですね」

大谷選手は、未来を見続けて、毎年全力でシーズンを送り、信頼の確立をめざして前進をしています。1球、1打席が勝負であり、手を抜かないことが大谷選手の代名詞になっています。さらにプロ入り前、大谷選手はこのような言葉も残しています。

「自分がどこまでできるのか、人間としても、どこまで成長できるのか楽しみです。二刀流を叶えたとき、そこには大きな価値があると思う。自分が成功すれば、同じように二刀流に挑戦する選手が続くと思いますし、いろいろな可能性が広がるはずで。今はとにかく頑張っ、新たな道を作れるような選手になりたいと思っています」

誰も歩んだことのない道を切り拓こうとする心意気。もちろん、大谷選手に関わった人たちの支えも、大谷選手に影響を与えたことは本人も自覚しています。

アメリカ大リーグは2020年シーズンから、投手登録、野手登録に加えて「二刀流選手」の登録を新たに設けました。これは大谷選手が築いてきたものが影響したとも言えるルール改正です。ひたむきな努力と前向きな心が、長い歴史を誇るアメリカの野球を変えたといっても過言ではありません。それほど偉大なことをやってのけ、人々の心に印象を刻みつけた1年間でした。

皆さんは、大谷選手と立場は違います。しかし、自分の未来を切り拓く心と、どこまでも人間性を磨いていくことは真似ができます。人間性は人と触れ合う中でしか磨かれませんが、大森二中でぜひ人間性を磨き、自分にとっての良い成果を出してください。

(12月24日 終業式)



### ※保護者の皆さま

今年もお世話になり、本当にありがとうございました。来年も教職員一同、教育活動の充実をめざし、生徒の笑顔があふれる学校づくりをしてまいります。来年もどうかよろしく願いいたします。